

記念1周年登録

祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク

27日にシンポジウム

延岡市のカルチャープラザ

「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク」の登録1周年記念シンポジウムが27日午後1時から、延岡市のカルチャープラザのべおかで開かれる。パネルディスカッションやトークショーをはじめ、木工体験コーナー、パネル展など同時開催イベントもある。入場無料。

祖母・傾・大崩ユネスコエコパークは昨年6月に登録。シンポジウムは登録1周年を記念し、貴重な自然や文化の次世代への継承や地元の取り組みについて、幅広い人々に理解を深めてもらうこ

とが目的。主催は、延岡市と一般財団法人自治総合センター。メイン会場の多目的ホールでは午後1時から、地元活動団体のパネルディスカッション。コーディネーターの宮崎大学

名誉教授の岩本俊孝さん、パネリストの榎子川温泉美人の湯の中原史真さん、フォレストマントル上鹿川の西京子さん、県むかばき青少年自然の家

の宮田靖さんが、10年後の延岡や次世代へつなぐためのアイデアを交わす。午後2時30分からは、スペシャルトークショーがスタート。山ガールチームの火付け役となったアウトドアスタイル・ク

リエーターの四角友里さんが「はじめよう、自分らしい山歩き」をテーマに自分らしい一歩で自然とつながる方法や、自然体験の素晴らしさを国内外の美しい写真とともに話す。終了後は自身の著書「ガイド&エッセイ」山登り12カ月「山と渓谷社」のサイン販売会もある。また、ハーモニーホー

ルでは午後1時から、講演の映像を中継しながら同時開催イベントを開催。親子で体験できるネイチャークラフト「木のカメラを作ろう」(無料・限定100個)は、県むかばき青少年自然の家が自然との触れ合いのきっかけを提案する。このほか、四角さんのお勧め本

の展示もある。ロビーでは、祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの地域や植物などを紹介するパネル展や、安全な山歩きに必要なアウトドア・登山用品の展示なども開かれる。問い合わせは延岡市経営政策課(☎延岡22・7074)。